

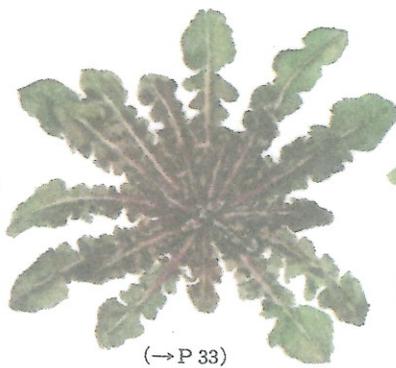
草の冬ごしーロゼットー

ほとんどの草の地上部が枯れている冬、地面にぴったり冬葉をひろげて冬をこす草がありますが、このようなものをロゼットといいます。冬の野原にでると、ロゼットのほか、かわったようすで冬をこす植物をみかけます。



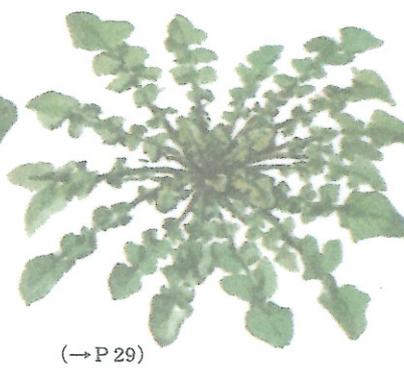
(→P 33)

げし(きく科)  
田に多い。もっとむらさき色なるものもある。



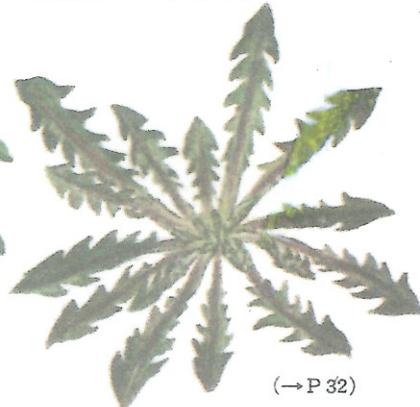
(→P 33)

▶おにたびらこ(きく科)  
野原や畑に多い。かれ葉とまちがえるような色のももある。



(→P 29)

▶こおにたびらこ(きく科)  
田に多い。図のような時期の葉はたべられる。



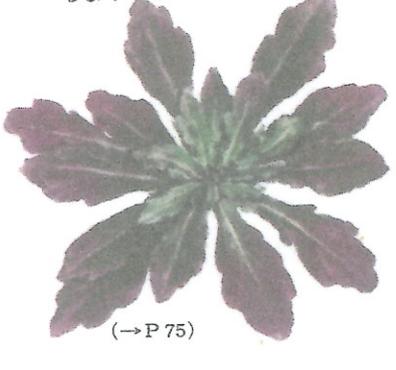
(→P 32)

▶たんぼぼ(きく科)  
野原や畑に多い。図のような時期の葉はたべられる。



(→P 31)

おん[はるじょおん](きく科)  
面に白い毛がいっぱいはえている。



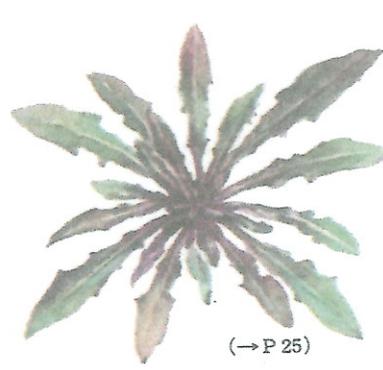
(→P 75)

▶ひめじょおん(きく科)  
野原や畑に多い。はるじょおんと同じように根はひげ根である。



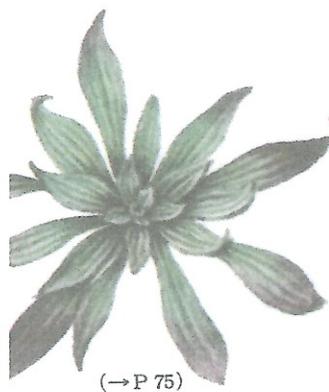
(→P 75)

▶ひめむかしよもぎ(きく科)  
野原や畑に多い。根はおも根で細くて長い。



(→P 25)

▶おおじしぼり[つるにがな](きく科)  
田に多い。葉をちぎると、白いしるがでる。



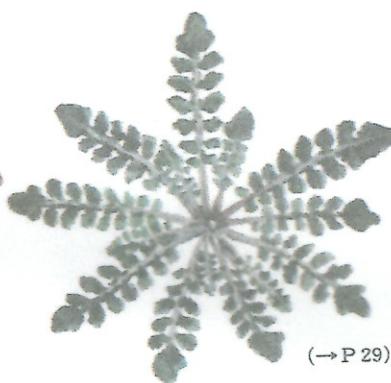
(→P 75)

おぼこ(おおぼこ科)  
や海岸のすな地に多い。根は長い。



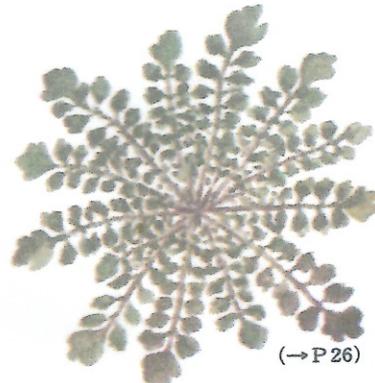
(→P 76)

▶おおまつよいくさ(あかばな科)  
かわらや海岸のすな地に多い。根は太くて長い。



(→P 29)

▶なずな(あぶらな科)  
野原や畑に多い。図のような時期の葉はたべられる。



(→P 26)

▶たねつけばな(あぶらな科)  
田に多い。葉がもっとたくさんでいるものもある。



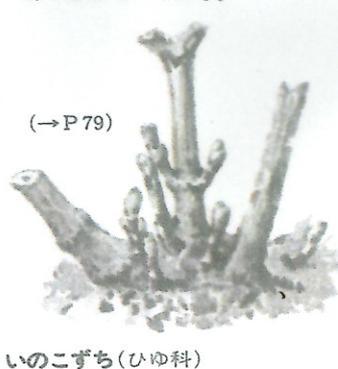
(→P 37)

た(たで科)  
めっぼい場所に多い。根は大きくて、ほりにくい。



(→P 113)

▶ひがんばん(まんじゆしゃげ)(ひがんばん科) 田のあぜに多い。秋、花がさきおわってから葉がのびて、冬をこす。



(→P 79)

▶いのこずち(ひゆ科)  
やぶかげに多い。土をかぶっている芽はピンク色で美しい。



(→P 84)

▶いわたばこ(いわたばこ科) しめっぼい岩に多い。冬、葉は紙をまるめたようだが春になると、しわがのびて広い葉になる。